

がんばろう！東北

平成29年 1月30日
国土交通省
東北地方整備局

まんこくぼし
万石橋の直轄診断結果報告
～湯沢市への技術的助言を実施～

道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。

そこで、国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い施設について直轄診断※を実施しています。

東北地方整備局では、昨年10月28日から秋田県湯沢市管理の万石橋において実施していました直轄診断の結果報告を、下記のとおり道路メンテナンス技術集団が行いますので、お知らせします。

■日 時：平成29年1月31日（火） 13時00分～13時30分（予定）

■場 所：湯沢市役所会議室（秋田県湯沢市佐竹町1番1号）

■道路メンテナンス技術集団：

東北地方整備局 道路部 道路保全企画官 山口 満 リーダー

国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室長 星隈 順一 他

〔添付資料〕

直轄診断（※） 【別紙1】

万石橋の概要 【別紙2】

〔取材について〕

当日は取材可能です。取材にあたっては、担当者の指示に従ってください。

《発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、秋田県政記者会、
横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局》

<問い合わせ先>

○：主な問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 TEL022-225-2171(代表)

○道路部 道路保全企画官 山口 満 (内線4121)

湯沢河川国道事務所 TEL0183-73-3174(代表)

副所長(道路) 松井 幸男 (内線205)

【※直轄診断】

「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

また、直轄診断の成果については、データの蓄積、研修等により東北地方整備局職員の技術力向上に活用していく。

【道路メンテナンス技術集団メンバー】

東北地方整備局道路部道路保全企画官(リーダー)

同 道路管理課道路構造保全官

同 湯沢河川国道事務所所長

同 副所長

同 東北技術事務所副所長

同 維持管理技術課長

国土技術政策総合研究所道路構造物研究部橋梁研究室室長

国立研究開発法人土木研究所構造物メンテナンス研究センター

橋梁構造研究グループ上席研究員

まんこくばし 万石橋の概要

【別紙2】

【位置図】



【正面】



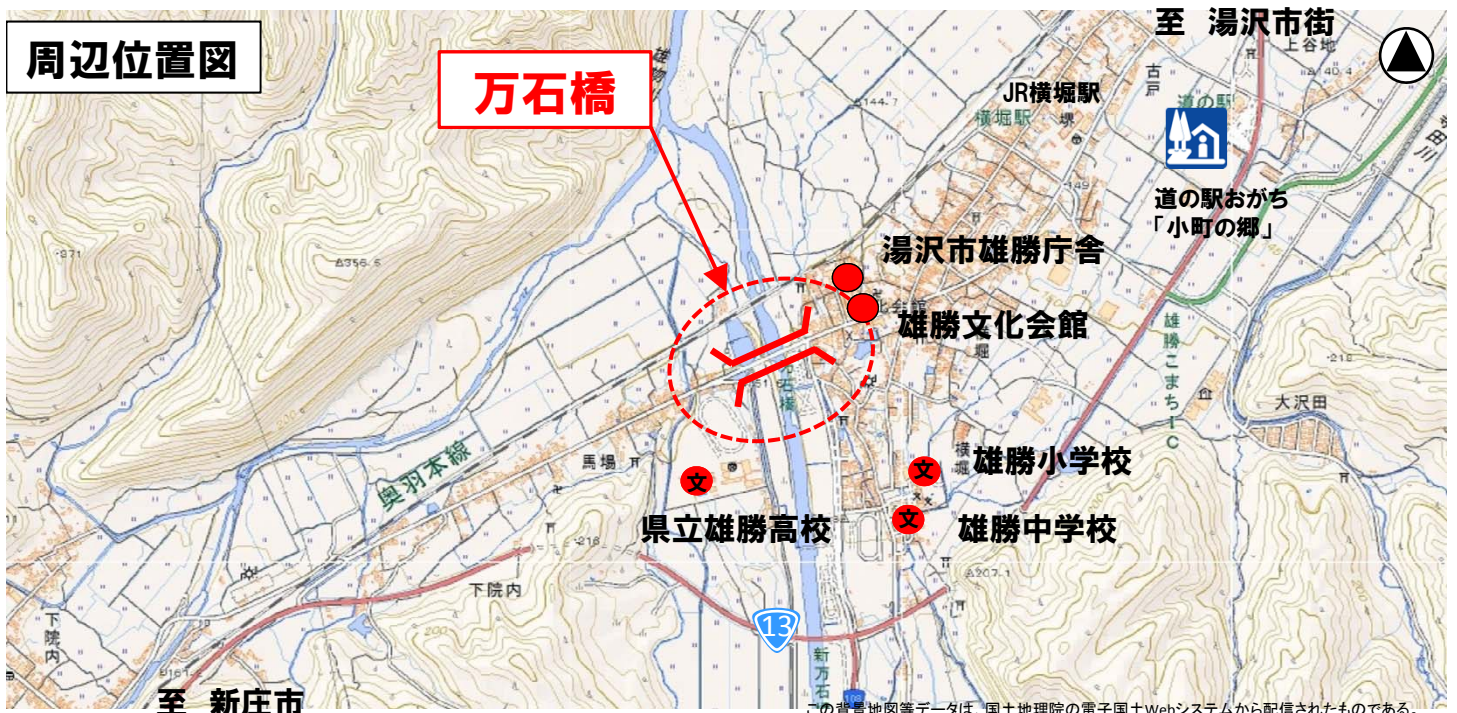
【側面】



〈万石橋諸元〉

建設年	昭和14年（1939年）
橋梁形式	RCゲルバー桁橋
橋長	170.5m
幅員	10.0m（内車道部6.0m）

周辺位置図



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。